

JILPT アーカイブ No. 3

「大学生のキャリア展望と就職活動に関する実態調査」(調査シリーズ No. 17) の Read me

本アーカイブデータの集計結果は、報告書に記載されている数値と一致します。ただし、報告書の結果と比較する際に注意が必要な箇所については以下に示しました。また、問 21 は自由記述で回答する設問のため、データはありません。

1. 問 1-1)

調査票では、学部と学科をそれぞれ聞いていますが、アーカイブデータでは以下の通り、詳細カテゴリ(変数名 q1_lgo1) 及び集約カテゴリ(変数名 q1_lgo2) にコーディングされています。

区分	カテゴリ (数字は値ラベルの番号)															
詳細 カテゴリ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	99
	人文学	商・経	法学	政策・社会・その他 社会科学	工学	理学	農学	保健	教育	家政・生活科学	芸術	社会福祉	人文・社会融合	文理融合	水産・商船	無回答
集約 カテゴリ	1	2			3	4			5	6	7	8	9			
	人文学系	社会科学系			工学	理・農・薬学			教育	家政・生活科学	芸術	社会福祉	文理融合・水産他			

2. 問 1-4) 問 3-1)

アーカイブデータに掲載されている「外国からの留学生」の定義とは、海外の高校出身者で日本に留学をしているものです。つまり、問 1-4) で海外からの留学生と回答し、問 3-1) で出身高校を海外と回答しているものが該当します。変数名は「q1_4go」です。

3. 問 11

アーカイブデータでは、報告書に掲載している「ガイダンス参加開始月～人事面接開始月」(○年生の○月から)(変数名は「q11A1」～「q11H3」)の平均値は集計できません。

4. 問 15

調査票記述の選択肢以外の内容を記述した人に対して、新しい値ラベルとして「12. その他」を追加しています(変数名は「q15_1」～「q15_3」)。

5. 問 24

アーカイブデータでは、報告書に掲載している「はじめて内定をもらった時期」(○年生の○月の○旬)(変数名は「q24_1」～「q24_3」)の平均値は集計できません。

6. 報告書 P176～P177 掲載の集計表

「就職先面接回数」「応募先面接回数」「就職先面接合計時間」「応募先面接合計時間」の項目は、集計表には掲載されていますが、これらは本調査実施後に別途実施したウェブ調査で把握した項目であるため、このアーカイブデータには含まれていません。

7. スケール変数とカテゴリ変数における「無回答の扱い」について

スケール変数と、それをカテゴリ化した変数を併せて提供している場合、スケール変数では無回答に相当するケースを無回答指定とし、あわせて欠損値指定をしております。一方、カテゴリ変数では当該ケースを無回答指定しています。

8. 追加変数について

(1) 調査票上に存在しない「大学設置者・年」(変数名「t1」)及び「大学地域」(変数名「t2」)については、調査実施ルートから把握した情報です。各変数の内容は以下の通りです。

区分	カテゴリ (数字は値ラベルの番号)				
大学設置者・年	1	2	3	4	5
	国立	公立	私立 (～50年以前)	私立 (50年～90年)	私立 (90年以降～)

区分	カテゴリ (数字は値ラベルの番号)						
大学地域	1	2	3	4	5	6	7
	北海道・東北	北関東	首都圏	中部・東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄

なお、各地域に区分される都道府県は以下の通りです。

1. 北海道・東北	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
2. 北関東	茨城県、栃木県、群馬県
3. 首都圏	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
4. 中部・東海	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
5. 近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
6. 中国・四国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
7. 九州	福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(2) 調査票上に存在しない「大学類型」(変数名「t3」)は、「偏差値に基づく大学類型」として加えたものです。詳しくは労働政策研究報告書 No78「大学生と就職」のP8をご覧ください。